

漁海況情報



沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話 098-852-4530・4531
FAX 098-852-4533

2013年(平成25年)9月 第490号

最新情報提供：沖縄県水産海洋技術センター
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

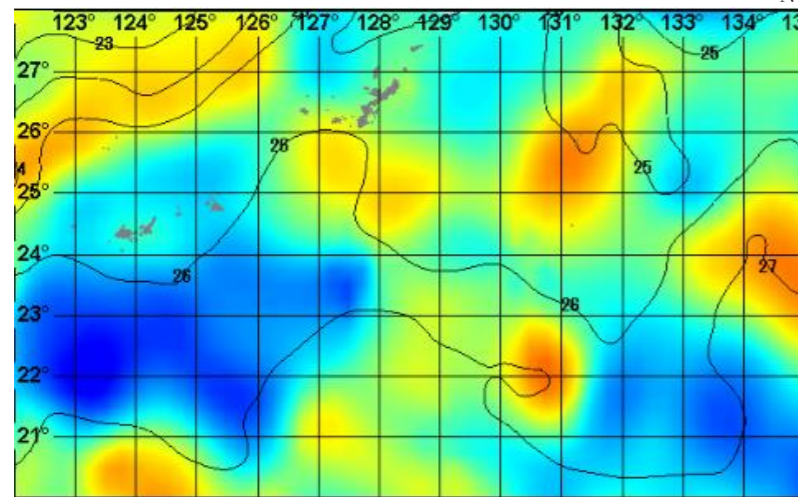


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2013年11月7日)

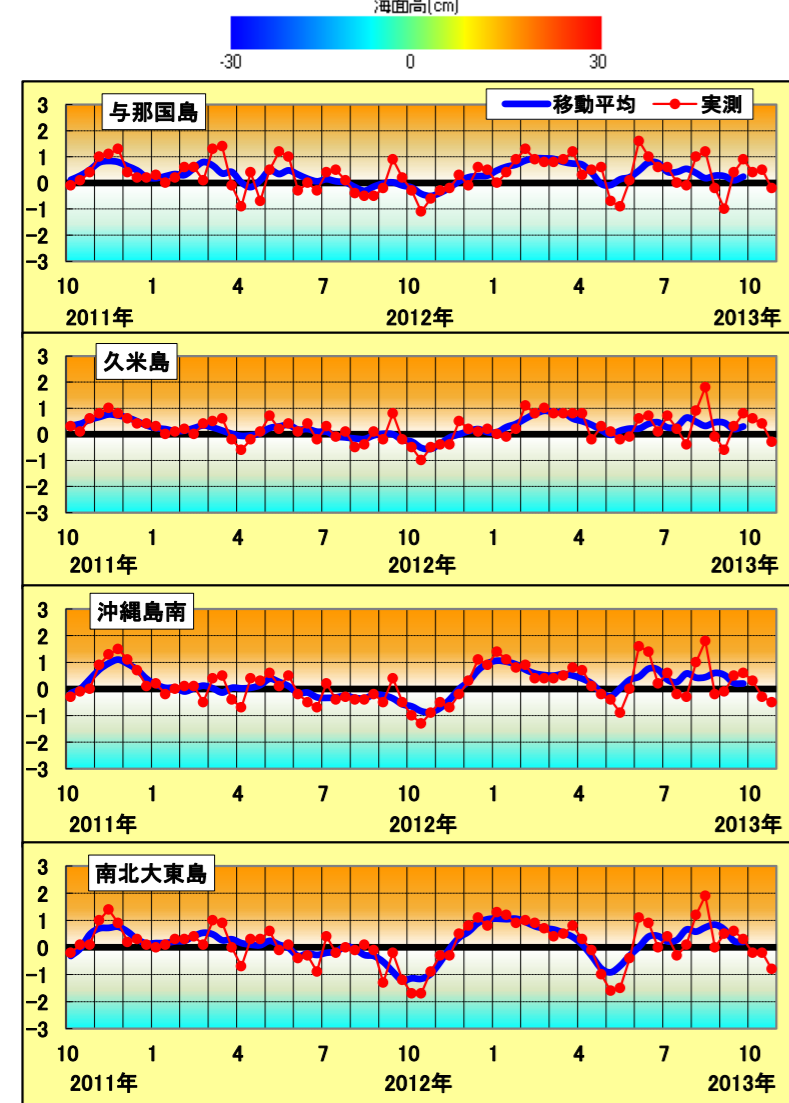


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

水温：10月の水温は、大東島でやや低めから低め(-0.5~-1.0℃程度)であった他は、前半、平年並み(±0.5℃程度)、後半、やや低め(-0.5℃程度)で推移した。

今後1ヶ月の水温は本島周辺海域、宝山大九首根では、前半、平年並み(±0.5℃程度)、後半、やや低め(-0.5℃程度)、大東島で前半、低め(-1.0℃程度)、後半、やや低め(-0.5℃程度)、その他の海域では概ね、やや低め(-0.5℃程度)で推移する見込み。

潮流：北緯21°30' 東経127°00' 付近から宮古島の南東に向けて比較的強い流れが発生している模様。また、凶南丸による海洋観測(11月5日~7日)では久米島の西方で黒潮流軸が通常より西方に、喜屋武崎から慶良間諸島の南方にかけては比較的暖かい流れが北上している海況が観測された。

参考資料
沖縄周辺の日別海水温・潮流
気象庁：11月10日発表
海水温・海流1ヶ月予報
気象庁地球環境・海洋部：11月8日発表
沖縄県地方1か月予報
沖縄気象台：11月8日発表

10月下旬の表面水温平年偏差	
与那国	平年並み
久米島	平年並み
沖縄島南	やや低め
大東島	やや低め

※9月の風向は紙面の都合上、割愛しました。

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、メバチ、伊良部ではキハダ、シビの水揚げが多かった。

表1 9月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	1.1	0.3	0.0	0.3	1.8	0.6	4.5
クコシキ	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.7
沖サワラ	0.5	0.1	0.0	0.0	0.6	0.0	0.9
カツオ	0.6	0.0	0.0	0.0	0.7	4.7	5.9
キハダ	11.8	2.0	1.9	1.2	16.9	18.2	54.0
シビ	11.7	3.2	0.4	1.5	16.8	16.9	36.6
メバチ	3.3	0.0	1.0	2.6	6.8	0.0	8.1
計	29.3	5.6	3.4	5.7	43.9	40.4	111.7

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6~10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	40.5	25.9	38.3	33.8	17.1	155.6
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	23.9	16.9	-	62.4

表3 6~10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	16.6	19.0	27.5	21.5	6.7	91.3
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	20.6	16.8	-	74.4

表4 6~10月のシイラ漁獲量(t)
沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)

年/月	6月	7月	8月	9月	10月	6-10計
2009年	1.8	0.3	5.1	3.5	6.0	16.7
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	0.2	1.8	-	5.2

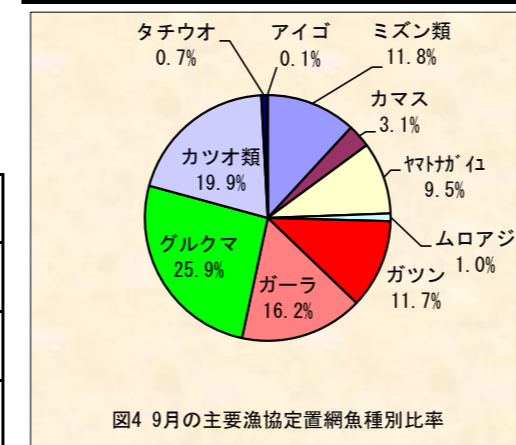


図4 9月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：9月の全体の漁獲状況は、9,969.7kgで先月(9,651.7kg)と比べて増加した。グルクマの漁獲が全体の25.9%、カツオ類が19.9%、ガーラが16.2%を占めた(表5、図4)。



台湾カマス(かまさー)

糸満ではキハダが11.8t、シビが11.7t漁獲された。港川ではシビが3.2t、キハダが2.0t漁獲された。知念ではキハダが1.9t、メバチが1.0t漁獲された。沖縄市ではメバチが2.6t、シビが1.5t、キハダが1.2t漁獲された。伊良部ではキハダが18.2t、シビが16.9t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6~10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2~4に示した。更に過去4年間の1~12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

9月のキハダの漁獲量は、16.9tで8月(23.9t)に比べて7.0t漁獲量が減少、昨年の9月(34.0t)と比較すると17.1t減少した(表2、図3)。シビの漁獲量は8月(20.6t)と比べて3.8t減少した(表3)。シイラの漁獲量は8月(0.2t)と比べて1.6t増加した(表4)。

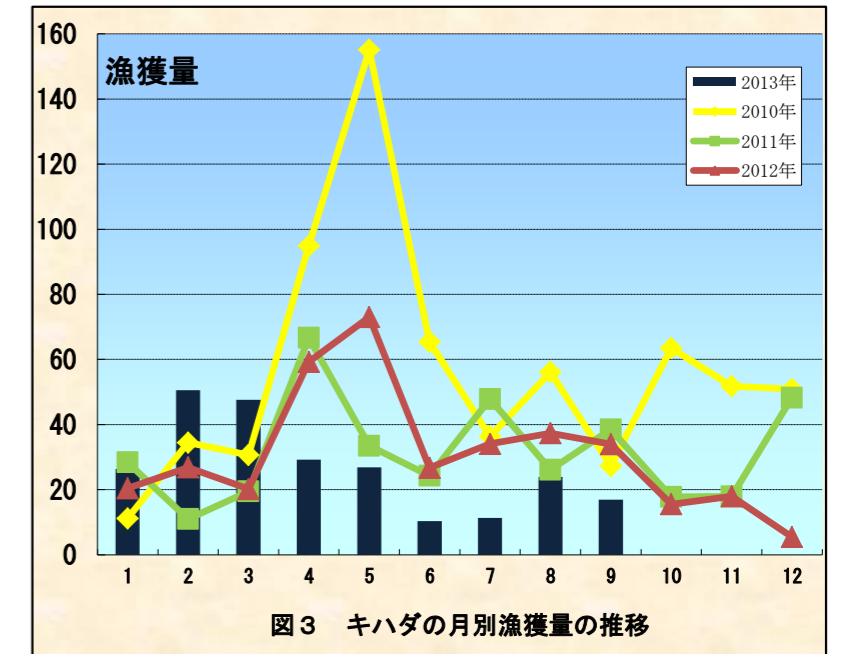


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 9月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	623.8	0.7	0.0	237.3	0.0	317.5	0.0	1,179.3
カマス	278.6	8.5	0.0	12.8	5.0	0.3	0.0	305.2
ヤトガハ	692.3	252.8	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	946.2
ムロアジ	100.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	101.0
ガツン	944.2	142.0	0.0	29.0	13.4	40.4	0.0	1,169.0
ガーラ	926.6	580.7	0.0	57.5	4.0	44.4	0.0	1,613.2
グルクマ	1,894.8	459.2	0.0	69.3	105.0	46.2	0.0	2,574.5
カツオ類	1,973.4	0.0	0.0	10.6	0.0	0.0	0.0	1,984.0
タチウオ	2.7	68.7	0.0	0.8	1.7	0.0	0.0	73.9
アイゴ	0.0	3.4	0.0	4.3	0.5	2.0	0.0	10.2
合計	7,437.1	1,516.0	0.0	421.6	130.7	451.1	0.0	9,956.5

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。